

元ロッテ監督  
近藤さん死去



プロ野球の横浜ベイスターズ(現DeNAベイスターズ)、千葉ロッテマリーンズで監督を務めた近藤昭仁(こんどう・あきひと)さんが27日、敗血症性ショックのため亡くなった。80歳。通夜は31日午後6時、葬儀は4月1日正午、横浜市鶴見区鶴見2の1の1の総持寺三松閣。喪主は妻由紀子(ゆきこ)さん。(スポーツ面に関連記事)

香川・高松一高、早稲田大を経て、1960年に大洋ホエールズ(現DeNA)に入団。同年、新人ながら活躍し、球団初のリーグ優勝、日本一に貢献。日本シリーズでは最優秀選手(MVP)に選ばれた。通算1619試合に出場し、打率2割4分3厘、65本塁打、360打点だった。引退後は、93、95年に横浜

監督、97、98年にロッテ監督などを歴任。98年にはプロ野球記録の18連敗を喫した。

【岸本悠】

素直な男だった

元ヤクルト、西武監督の**原田達朗**さんの話  
近藤は早大の後輩であり、ヤクルトでも西武でもコーチとして、よく助けてくれた。バカ正直なくらい素直な男だった。野球人としてやりきったはず。後悔はないと思う。

3/27 毎日新聞 社会面(本記)

< 本報 >

元ロッテ監督 近藤昭仁さん死去

原監督「素晴らしい先輩」

近藤昭仁さんの訃報を受け、巨人の原辰徳監督は27日、東京ドームでの全体練習後に「厳しい先輩だね。竹を割ったような、素晴らしい先輩であり、野球人であった」と語り、悲しさをにじませた。

(社会面参照)

原監督が現役時代の1989年から91年まで巨人のヘッドコーチで、2度目の監督となった2006年にはヘッドコーチとして招いて、ともに戦った。「僕の中で、指導者たるや

みたいな部分、鬼にならなければならないところを教えられたところでもある」と感謝した。

西武の辻発彦監督はプロ入り時に近藤さんがコーチだった。オフも横浜市の自宅から練習場のある埼玉県所沢市まで通って熱心に指導してもらったという。「若い時に目をかけてくれた。大変お世話になったし、悲しい」と思いを語った。

ロッテの福浦和也2軍打撃コーチ兼内野手にとってはプロ4年目

で初めて1軍に呼んでくれた監督だった。「近藤さんが監督じゃなかったら今の僕は無かつたし、あの頃があったから今のマリンスがあるといっても過言ではないと思います。感謝した。

謝しかない」と話した。オリックスの西村徳文監督はロッテで現役を引退してコーチとなった98年に近藤さんが監督だった。互いの自宅が近かったため、車で球場まで送っていたことを思い出しに挙げ「監督としての考え方を学んだ。いろいろなことを教わってお世話になったこと感謝した。



1997年、ロッテ監督時代にエース黒木をねぎらう近藤氏(左)

3/27 毎日新聞 スポーツ面 (関連記事)